

タイトル	「軟骨伝導イヤホン」の窓口導入について
担当課	企画財政部 企画課 担当：石井 (電話：055-948-2915 内線：2313)

## 1 概要

本市が包括連携協定を締結する、全国の信用金庫でつくる「よい仕事おこしネットワーク」では、奈良県立医科大学と連携し、軟骨伝導を活用した高齢者など耳が聞こえづらい方のための「窓口用軟骨伝導聴覚補助イヤホン」の普及拡大に向けて取り組んでいます。

軟骨伝導は「気導（従来の聴こえ）」とも「骨伝導」とも異なる「第3の聴覚経路」と呼ばれ、耳の軟骨へ振動を与えることで音を伝えることができ、イヤホン本体を軽く耳に接触させるだけで、アクリル板越しの相手の声でもはっきりと聴きとることができます。イヤホンが耳を完全に塞ぐことはないため外部音の聞き取りに影響はなく、振動によって伝わるため音漏れの心配もありません。

補聴器に比べると衛生的かつ安価で取扱いやすく、また、音漏れが少なく、大声での会話が不要でプライバシー保護にも役立つことから、高齢者等の利用が想定される市役所窓口（伊豆長岡庁舎、大仁庁舎）及び社会福祉協議会窓口（菰山）において、静岡県内で初めて軟骨伝導イヤホンを導入しました。

## 2 軟骨伝導イヤホンについて

### (1) 製品名

cheero Otocarti MATE（ティ・アール・エイ株式会社）

### (2) 製品概要

別紙参照

### (3) 骨伝導イヤホンに対する優位性

種類	骨伝導	軟骨伝導
①側頭骨の振動	必須	<u>不要</u>
②振動子による圧迫	必須	<u>不要</u>
③消費電力	大	<u>小</u>
④両耳聴（ステレオ感、方向感など）	小	<u>大</u>
⑤音漏れ	大	<u>小</u>
⑥振動子の固定	圧着（痛い）	<u>接触（痛くない）</u>